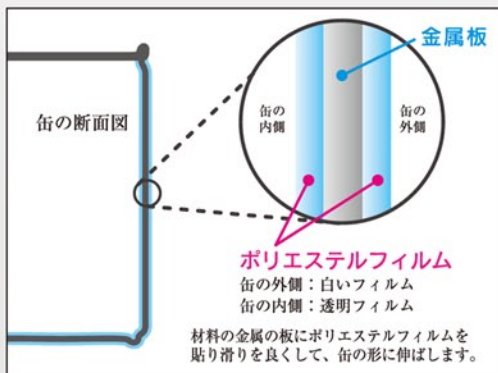



底が白い缶。

ひらき、心ときめく。



みなさんが飲んでいる、ジュースやコーヒーの缶。そのなかで“底が白い缶”を目にしたことはありませんか。見過ごしがちですが、その“底が白い缶”にはとても大切な意味が隠れているのです。缶は、成形の工程で大量の水が必要でした。東洋製罐が開発したTULC(タルク)では、白いフィルム状の素材を使った独自の成形法によって、まったく水を使いません。大切な水資源を保全できるその技術は、水不足に悩む世界の国々からも、大きな関心を寄せられています。みなさんが手に取る“底が白い缶”。そのひとつひとつに、東洋製罐の環境への大きな想いが込められています。  東洋製罐株式会社

感動を共にできる企業をめざします。



東洋製罐グループホールディングス

<http://www.tskg-hd.com/>